施策の概要(F	PLAN)	. 10 1/ 20 0 0	4L
総合計画の政策名	学びあうひとづくり 彩りあるまちづくり	担当部局長	教育部長 、健康こども部長
基本施策名	2-1 就学前•学校教育	取りまとめ	指導課
	つながりある学びと育ちを大切にするまち		
めざす姿	就学前から義務教育、さらにその後の教育へとつな 子どもの育ちを大切にする意識が根付いています。 を楽しみ、子どもたちの「確かな学力」、「豊かな心」	快適な学習理	環境のもと、学校が好きな子どもが増え、学校生活
施策の展開方向	①学習環境の整備・充実 ②就学前教育の充実 ③学校教育の充実 ④つながりある教育体制の充実		

施贫	策0	の成果指標と実績	漬(D	O)							
				単位	総合計画記載 (H26現状値)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	総合計画記載 令和6年度
		幼稚園・保育所・認定こど も園などにおける就学前	目標	%	(市民満足度調査)	(市民満足度調査)	_	_	_	(市民満足度調査)	75.0
		教育が充実していると感じ ている市民の割合	実績	%	62.9	65.0	_	_	_	64.8	
		小中学校教育が充 実していると感じて	目標	%	(市民満足度調査)	(市民満足度調査)	_	_	_	(市民満足度調査)	72.0
成果指標	2	いる市民の割合	実績	%	57.4	58.7	1	1	_	59.1	
指標	3	学校に行くのが楽し いと思っている生徒	目標	%	_	Ī	(全国学力学習状況調査)	ĺ	(全国学力学習状況調査)	(全国学力学習状況調査)	88.0
	9	の割合	実績	%	83.5	87.6	79.2		81.6	77.9	
	(A)	自分によいところが あると思っている生	目標	%	_	(全国学力学習状況調査)	(全国学力学習状況調査)	-	(全国学力学習状況調査)	(全国学力学習状況調査)	
	4	徒の割合	実績	%	61.5	68.0	71.1		76.2	77.9	
	(5)		目標								
	9		実績								
施策内事	i i			単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和6年度
事業の	Į.	事業費総額		千円	1,552,982	604,731	922,229	1,616,007	1,708,104	_	_
集計		うち市負担額	額	千円	1,167,437	578,221	756,346	935,382	876,553		_

施策の成果について(CHECK)

目標達成度合 (評価)

B 順調

理由

「学校へ行くのが楽しいと思っている生徒の割合」については、調査の種類・調査時期の違 いもあり、結果の増加減少が見られるが、「自分によいところがあると思っている生徒の割合」については、増加傾向にある。このことは、様々な取組みの成果の1つである。また、小中学校の長寿命化改修工事等を予定通り進めることが出来ていることや、学校給食におい ニック食材等の使用など内容の充実を図ることもできている。以上のことから、左の 評価とした

- ◆園内校内研修とともに、市教委主催の研修も実施することで、教職員等の資質の向上と、教育・保育の充実が図れた。 ◆多様な学習活動に対応するため、GIGAスクール構想における1人1台タブレット端末を導入するとともに、情報機器及び教材等の整備 を行い、教員がタブレットや大型提示装置等を効果的に活用することで、児童生徒の主体的な学びが促進された。
- ◆外国人英語指導助手の指導により、国際感覚やコミュニケーション能力の基礎が段階的に育まれた。特に小学校5年生以降、英語を 使ったコミュニケーション活動を積極的に設けることで、英語を使って会話する機会が多くなり、英語活用力の基礎が身についてきた。ま 、令和4年度から、モデル校において外国語活動・外国語科以外の教科等の授業も、英語によるイマージョン教育を行うことで、英語の 使用場面の増加、目的意識と達成感のさらなる向上、英語の発話の抵抗感緩和が図られた
- ◆全国学学力習状況調査や大阪府のすくすくウォッチの結果から、子どもたちの成果と課題を分析し、指導方法の工夫改善の一層の充 実に各校で取り組むことができた。また、市費講師により、個に応じたきめ細かな少人数指導と学校・学年の状況に応じた指導・支援を推 進することができた
- ◆各校に専任の図書館司書を配置し、児童生徒が学校図書館を活用しやすい環境づくりを行うことで、調べ学習や読書指導など学校図 書館教育の充実と活性化を図ることができた。
- -シャルワーカー・こどもサポートセンター・スクールガードリーダーなどの活動により、児童生徒の安全の見守り、様々な課 題の未然防止・早期解決を支援することができた
- ◆重度の障がいのある児童生徒の支援を行うために介助員・特別支援員を配置し、その障がいに応じた適切な個別配慮のもとで、児童 生徒が学校生活を円滑に送るための生活援助や支援が提供できた。また、介助員・特別支援員配置児童生徒の保護者からも一定の評 価が得られた
- ◆家庭教育支援サポーターにより、保護者がストレス軽減とともにサポーターへの信頼関係が生まれ、徐々にではあるが現実の問題と 向き合うことができるようになった。保護者の変化に合わせて児童生徒の学校での様子にも変化が見られるようにもなった。また、小学校 配置型支援を通して、小学校教員と密に情報共有するとともに、課題の早期発見・早期対応が可能となった。

 ◆学校教育・学習環境の整備充実のため、ハード面としては小中学校の長寿命化改修工事、体育館の空調整備等を行った。ソフト面と

- ▼子は教育・子自塚発生順光学のためオーガニックを材等の使用など学校終食の内容の充実を図ることができた。
 ◆(仮称)児童発達支援センター開設に向け、改修工事に係る設計など、工事発注の準備を整えることができた。
 ◆小学校の図書室を定期的に開放し、読書のほか、さまざまなイベントなどを行うことで、子どもの居場所づくり、地域交流の拠点の一つ となっている。

成

◆教育の質の向上に資するための教材整備など、充実した教育環境をめざすため、限られた事業予算をいかに効率的・効果的に執行 するかが課題となっている。

- ◆情報機器及び教材等については、定期的なバージョンアップや見直しのほか、環境の継続的な改善が課題である。
- ◆年々、介助員ならびに特別支援員によるきめ細かい支援を必要とする児童生徒の数が増えている現状がある。医療的ケア児支援法 が施行され、医療的ケアの必要な児童が地域の学校に安心して入学できるための環境整備が必要となってきた。今後も現状を把握しな がら、人的配置や合理的配慮に基づく学習環境の提供を行っていく必要がある。
- ◆小中学校では順次、長寿命化改修工事や建て替えをおこなうとともに、必要に応じて、修繕等が必要となることから多額の費用が必要 である。また、オーガニック食材等の使用については、小中学校で約6,000人分の食材が必要であるため、安定的な供給先確保が課
- ◆幼稚園施設については、昭和40年代から昭和50年代に建築されたものが多く、老朽化が深刻な課題となっている。また、限られた予 算内において、年次計画的かつ可能な限り早急に、安全面や機能面の改善を図ることが課題である。 ◆引続き(仮称)児童発達支援センター開設に向け、改修工事を行う。
- ◆今後も継続的な実施や新たな地域開放実施を行っていくため、運営の担い手の掘り起こしや確保が必要である。

◆今後、予測不可能·予測困難·不確かの時代において、未来を担う子どもたちが、生き抜いていく力を身に付けさせるためには、さらな る教育の質の向上・充実が必要であり、そのため、環境整備・人的配置等を含めた計画的な準備が求められる。

- ◆小中学校は築30年以上の施設が多く、老朽化が進んでいる。また、オーガニック食材等については流通量が少なく、学校給食で必要 な供給量を確保が困難である。
- ◆(仮称)児童発達支援センターについては、令和5年4月開設に向けてスケジュールコントロールが必要である。
- ◆地域の自治会やボランティアによって運営される委託事業であり、担い手の高齢化が顕著であるため。

今後の施策の方向性(ACTION)

- ◆今後、GIGAスクール構想の中で導入したタブレットの入れ替えが令和7年度にあたるため、入れ替えのスケジェ ュールについて検討し ていくなど、環境整備・人的配置等、計画的な準備を行っていくとともに、授業改善等、教育の質の向上の推進も図る。
- ◆教員の負担軽減とともに、事務作業の効率化を図る。
- ◆市費非常勤講師は、配置された学年の現状に即したより効果的な活用を行う。
- ◆関係諸機関との連携強化など、子どもたちの安全確保、多様な課題に対する未然防止・早期解決に向けた体制整備を継続して取り組
- ◆小中学校の長寿命化改修工事や建て替え工事を順次進めていくことで、学習環境の整備充実を図る。また、児童生徒の健全な成長 発達のため、学校給食でのオーガニック食材等の使用をさらに推進していく。供給先については、教育部局だけでなく市長部局と連携し 確保に努めていく
- ◆令和2年10月に策定した、泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画に基づき、認定こども園化や必要な修繕等を計画的に行 い、教育保育機能を維持していく。
- ◆地域の中核的な療育支援施設として、市内で1箇所の児童発達支援センターを新規で整備し、指定管理者制度により、運営を行う。
- ◆現行の3校に加え、地域開放実施校を増やしていく

継続的な地域開放事業が行えるよう、地域学校協働活動推進員やみらい応援隊などとも連携し、運営の担い手の掘り起こしや確保をし ていく。

要 因 分析

今後の

課

題

事務	事業評価結果一	覧									
総	合計画の政策名	学びあうひとづくり	彩りある	らまち	づくり						
	基本施策名	2-1 就学前・学	校教育			1					
	担当課		事業名			事	業費総額 (千円)				事務事業評価結果
1	 指導課	情報環境整備事	 業				15,222	1	0,834	Α	現行どおり
2	指導課	通学路交通安全	対策事業	Ę			4,468	4	1,468	В	改善し継続
3	指導課	英語指導助手派	遣事業				8,655	8	3,655	Α	現行どおり
4	 指導課	教職員研修事業					15		15	Α	現行どおり
5	 指導課	きめ細やかな学績	及運営支	援事	 業		18,849	1	1,114	Α	現行どおり
6	指導課	介助員配置事業			<u> </u>		76,572	7	6,572	В	改善し継続
7	指導課	学校支援社会人	等指導者	活用	事業		980		980	В	改善し継続
8	指導課	学校事務共同実	施推進事	業			13		13	Α	現行どおり
9	指導課	教育実習受入事					465		0	A	
10	指導課	教育相談事業	× (111 4) 1	PI 7			5.863	· ·	5.863	A	
11		子ども支援プロジ	ェクト車	坐			3.882		0	В	
12		支援教育事業	T /1 T /				4.074		1.074	A	
	20 13 001		市 娄 / 北	首冊)							
13	指導課	小学校教育振興		寺 禄)			453		453	Α	
14	指導課	小学校教育振興					11,411		1,478	A	
15	指導課	図書館司書配置		*==			18,098		8,098	В	
16	指導課	団体等育成支援					484		484	A	
17	指導課	中学校教育振興		鼻 課)			1,067		1,067	A	
18	指導課	中学校教育振興					11,364		3,921	Α	
19	指導課	伝統文化推進事					150		150	Α	
20	指導課	明日を拓く学校づ	くり推進	事業			1,298		698	Α	現行どおり
21	指導課	家庭教育支援事	業				1,968	1	1,461	В	改善し継続
22	指導課	環境教育推進事	業				240		0	Α	現行どおり
23	指導課	自学自習支援事	業				4,105	3	3,979	Α	現行どおり
24	指導課	地域ぐるみの学校	安全体	制整	備推進事業		7,103		5,791	Α	現行どおり
25	教育政策課	小学校維持管理	事業				197,755	19	94,408	Α	現行どおり
26	教育政策課	小学校施設整備	事業				443,864	3	1,460	Α	現行どおり
27	教育政策課	情報環境整備事	業				82,895	6	2,655	Α	現行どおり
28	教育政策課	中学校維持管理	事業				64,103	6	1,317	Α	現行どおり
29	教育政策課	中学校施設整備	事業				256,941	2	5,041	Α	現行どおり
30	教育政策課	小学校プール維持	寺管理事	業			2,171	2	2,171	Α	現行どおり
31	教育政策課	小学校プール施設	没整備事	業			2,920	2	2,920	Α	現行どおり
32	教育政策課	小学校教育振興	事業				2,000	1	1,137	В	改善し継続
33	教育政策課	小学校教材整備	事業				16,230	1	6,230	Α	現行どおり
34	教育政策課	中学校教育振興	事業				1,203		766	Α	現行どおり
35	教育政策課	中学校教材整備	事業				3,862	3	3,862	Α	現行どおり
36	教育政策課	教育委員会運営	事業				49		49	Α	現行どおり
37	教育政策課	児童等健康管理	事業(教育	育政領	策課)		34,469	3	1,199	Α	現行どおり
38	教育政策課	小学校給食事業					139,726	12	26,686	Α	現行どおり
39	教育政策課	中学校給食事業					197,362	8	3,134	Α	
40	こども育成課	教育実習受入事	業(こども	育成	:課)		210		0	Α	
41	こども育成課	児童等健康管理					4,278	4	1,278	A	
42	こども育成課	幼稚園維持管理		-13			26,773		6,773	A	
43	こども育成課	幼稚園施設整備					30,639		0,639	A	
44	資産活用課	児童発達支援セン		曲事:	 *		3,435		3,435	A	
45		放課後子ども教室					420		225	A	
40	工性于自体		こ1年延尹:	*							₩ I I C 03.7
		合計					1,708,104	87	76,553	<u> </u>	1
4	事務事業の方向性	A 現行どおり	38	本	B 要改善	7	本	C 縮小	0	本	D 休止·廃止 0 本

施策の概要(F	PLAN)	. 10 1/2 20 5	*L +n =
総合計画の政策名	学びあうひとづくり 彩りあるまちづくり	担当部局長	教育部長
基本施策名	2-2 青少年育成	取りまとめ	スポーツ青少年課
	青少年が夢を持って社会参画できるまち		
	学校・家庭・地域が一体となって青少年の社会への が夢を持ち、自らの意思で積極的に社会参画するま		
	①健全育成の環境づくり ②青少年の社会参画の推進		

施贫	耟0	の成果指標と実施	漬(D	O)							
				単位	総合計画記載 (H26現状値)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	総合計画記載 令和6年度
	1	将来の夢や目標を持って いる青少年の割合	目標	%	(市民満足度調査)	(市民満足度調査)	_	_	_	(市民満足度調査)	84
		いる青少年の割合	実績	%	76.4	72.5	-	1	_	64.4	
成	②	この1年間に、ご自身また はお子さんが、青少年健 全育成のための活動に参	目標	%	(市民満足度調査)	(市民満足度調査)	_		_	(市民満足度調査)	30.0
成果指標		加したことがある市民の割 合	実績	%	14.1	11.4	-	-	_	7.1	
標	3	将来の夢や目標を持っ	目標	%	_	_	_	_	_	_	
	9	ている生徒の割合	実績	%	72.2	71.7	73.2	-	69.7	65.3	
	(4)		目標								
	4		実績								
	(5)		目標								
	9		実績								
施策内事業	i			単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和6年度
業の		事業費総額		千円	5,116	6,286	5,824	7,743	4,408	_	_
集計		うち市負担額	額	千円	4,676	6,286	5,834	4,760	3,817	_	_

施策の成果について(CHECK) 目標達成度合 コロナ禍で一部実施できない事業があったが、継続的な事業実施を行っているた C 概ね順調 理由 (評価) め ◆健全育成の環境づくりでは、コロナ禍の中、子どもにとって様々な経験ができる機会が減少したが、少年少女合唱団への青少年育成事業の委託や、放課後子ども教室を総合型地域スポーツクラブに委託するなどし、可能な限りの事業実施に努めた。 ◆また、青少年の社会参画の推進では、大学生や新成人など同世代の若者を中心とした企画委員で作り上げた成人式を実施し、新型コ 成 ロナウイルス感染症対策から2部制での実施とし、ライブ配信の導入やドローンによる集合写真記念撮影等を取り入れた。 ◆青少年指導員の高年齢化、担い手不足や、「新しい生活様式」に対応した青少年健全育成のための多様な経験ができる 機会を創出していくことが課題である。 課 題 ◆青少年指導員は、経験豊富な人材に対し継続的に委嘱を行ってきたことから人材の流動が少ないため。 要 子どもの体験活動として、宿泊を伴う体験学習など、感染リスクのある事業を実施してきたため。 因 分析

今後の施策の方向性(ACTION)

◆青少年指導員は、青少年指導員協議会や、各自治会からの推薦により選出する方法を取っているが、人材の流動が可能 になる仕組みについて検討を行う。

◆子どもの体験活動については、イベントとしての実施のみにとどまらず、地域で放課後子ども教室を継続的に実施できる人材の発掘を行うなど、児童の継続的な健全育成に寄与する取組を推進する。

今後の 施策の 方向性

彩	合計画の政策名	学びあうひとづく	り 彩りある	まちづくり							
	基本施策名	2-2 青少年育	成		1						
	担当課		事業名		事	業費総額 (千円)		負担額 F円)		事務事業評	価結果
1	スポーツ青少年課	青少年育成事業	業			1,224	1	,224	В	改善し継続	ŧ
2	スポーツ青少年課	青少年指導員沒	舌動支援事	業		793		793	В	改善し継続	ŧ
3	スポーツ青少年課	成人式事業				2,391	1	,800	В	改善し継続	ī
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											
		合計				4,408	3	,817			

施策の概要(F	PLAN)		#L 45 to F			
総合計画の政策名	学びあうひとづくり 彩りあるまちづくり	担当部局長	教育 部長			
基本施策名	2-3 生涯学習	取りまとめ	生涯学習課			
すべての世代が学びあい育ちあえるまち						
	多様なニーズに応じた学習機会の提供により、すべ 環が創出され、学ぶことの喜びを分かちあえるまち					
施策の展開方向	①生涯学習推進体制の整備 ②学習活動の支援及び学習環境の充実					

施贫	長の	の成果指標と実績	漬(D	O)							
				単位	総合計画記載 (H26現状値)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	総合計画記載 令和6年度
	(1)	生涯学習の機会や場所が 充実していると思う市民の	目標	%	(市民満足度調査)	(市民満足度調査)	_	-	_	(市民満足度調査)	71.0
	0	割合	実績	%	54.3	57.3	1	1	_	55.4	
	②	人生が豊かになるよう 生涯学習活動に取り組	目標	%	(市民満足度調査)	(市民満足度調査)	_	1	_	(市民満足度調査)	35.0
成	٧	んでいる市民の割合	実績	%	20.0	15.2	1	1	-	15.9	
成果指標	3	生涯学習を通じて身に付けた知識や経験、人との つながりを仕事や地域活	目標	%	(市民満足度調査)	(市民満足度調査)	-	1	-	(市民満足度調査)	91
	3	動に活かすようにしている (または、活かしたいと 思っている)市民の割合	実績	%	79.4	84.2				80.6	
	4		目標								
	•		実績								
	(5)		目標								
	Ů		実績								
施策内				単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和6年度
事業の		事業費総額		千円	102,553	82,875	82,285	263,197	226,342	_	_
集計		うち市負担額	額	千円	101,369	80,986	78,652	221,620	223,593	_	_

施策の成果について(CHECK) 目標達成度合 C 概ね順調 理由 市民満足度調査において、令和4年度の数値が伸びていないため。 (評価) ◆新図書館整備事業では、令和3年9月にシープラがオープン。読書や自習に加え、目的がなくても気軽に足を運んでもらえるよう、また市民等の多様な興味・関心に応えられるよう、多彩な企画・イベントを実施。開館後7ヶ月で訪れた20万人を超える来館者に対し、読書 活動機会の提供のほか、様々な形の学びに触れられる場所や機会を提供することができた。 ◆公民館事業、勤労青少年ホーム事業については、貸し館業務としての色が強く、既存の団体のみの使用で広く一般的に市 民が利用していない。 ◆コロナ禍により講座やイベントの大幅な減などの状況が続き、リモートなどの新たな手段の検討が必要であった。 課 題 ◆専門性や質の高い学習、幅広い分野の講座を十分に行うことができていない。また、講座やイベントの情報を必要としてい 要 る人に上手く届けられていない。 因 ◆知識不足によりリモートによる講座の実施等がすぐに行えなかった。 分析

今後の施策の方向性(ACTION)

◆学校と地域の団体等と連携し、地域交流ゾーンを公民館機能の一部として活用することで、クラブ活動や子どもたちの居場所づくりにも関わっていき、将来的に誰もが使いやすい場となるようにしていく。

◆シープラと学校図書館の連携やまちぐるみ図書館の整備を行い、あらゆる場所と機会に本や学びに触れられる環境を整えていく。 今後の 施策の 方向性

◆ホームページの刷新やSNSなど新たに媒体も活用しながら、より多くの人に情報が届くよう広報に努めていく。

事務	事業評価結果一	 覧			
糸	総合計画の政策名	学びあうひとづくり 彩りあるまちづくり			
	基本施策名	2-3 生涯学習			
	担当課	事業名	事業費総額 (千円)	市負担額 (千円)	事務事業評価結果
1	生涯学習課	社会教育活動推進事業	1,867	1,781	A 現行どおり
2	生涯学習課	おてんのう会館管理運営事業	643	643	B 改善し継続
3	生涯学習課	ブックスタート事業	585	0	A 現行どおり
4	生涯学習課	学校図書室地域開放事業	5	5	A 現行どおり
5	生涯学習課	環境体験学習推進事業(生涯学習課)	1,386	0	A 現行どおり
6	生涯学習課	勤労青少年ホーム運営・維持管理	11,275	11,077	D 休止·廃止
7	生涯学習課	新図書館整備事業	27,269	27,269	D 休止·廃止
8	生涯学習課	図書館運営・図書館維持管理事業	160,966	160,966	A 現行どおり
9	生涯学習課	団体等育成支援事業(生涯学習)	2,163	2,163	B 改善し継続
10	生涯学習課	南公民館運営事業·南公民館維持管理事業	12,031	12,031	A 現行どおり
11	生涯学習課	北公民館運営事業·北公民館維持管理事業	7,491	7,096	A 現行どおり
12	教育政策課	先端教育人材育成事業(教育政策)	561	561	B 改善し継続
13	スポーツ青少年課	放課後子ども教室推進事業(スポーツ青少年課)	100	1	B 改善し継続
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
		合計	226,342	223,593	
	事務事業の方向性	A 現行どおり 7 本 B 要改善		0	本 D 2 本

施策の概要(F	PLAN)		4L-5-40 E
総合計画の政策名	学びあうひとづくり 彩りあるまちづくり	担当部局長	教育部長
基本施策名	2-4 文化・芸術・スポーツ	取りまとめ	スポーツ青少年課
	暮らしに文化・芸術・スポーツが息づくまち		
	すべての市民が、文化・芸術・スポーツに親しみ、暮 体となった様々な活動が展開され、活動の裾野がD		
	①歴史的・文化的資源の保存と活用 ②文化・芸術・スポーツ活動の支援 ③各分野との交流・連携の充実		

施贫	策∅	の成果指標と実績	漬(D	0)							
				単位	総合計画記載 (H26現状値)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	総合計画記載 令和6年度
	(I)	週に1日以上、運動やス ポーツをしている市民の割	目標	%	(市民満足度調査)	(市民満足度調査)	_	_	_	(市民満足度調査)	48.0
		合	実績	%	35.5	39.7	1	1	-	40.8	
륪	②	1ヶ月に1度以上、文 化・芸術活動に参加し	目標	%	(市民満足度調査)	(市民満足度調査)	_	1	_	(市民満足度調査)	32.0
成果指標		ている市民の割合	実績	%	16.2	17.0	_	_	_	13.3	
招 標	3	文化・芸術・スポーツの	目標	人	-	1	_	1	_	-	18000
	9	イベント参加者数	実績	人	10366	17922	21026	5667	13841		
	4		目標								
	4		実績								
	⑤		目標								
	9		実績								
旅策	E E			単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和6年度
事業の		事業費総額		千円	94,844	127,568	102,205	104,626	113,391		_
<i>0.</i> 集 計	Ę	うち市負担額	預	千円	68,162	65,211	75,399	89,225	100,266	_	_

施策の成果について(CHECK) 目標達成度合 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの中止等があったが、活動の機 C 概ね順調 理由 (評価) 会は増えているため 成 ◆世代を超えて文化芸術でにぎわうまちを目指し、アートマネジメント研修、情報発信の強化、泉大津市の未来の形を考えるブンカミーティングというワークショップを行っていくことを明記した第3次文化芸術振興計画を策定した。 ◆スポーツ施設については、令和2年度より指定管理者制度を活用した管理運営事業を行い、市民サービスの向上を図り、市民がス ポーツにふれる機会を増やすことができた。 ◆市展、文化祭、市民音楽祭、市民体育祭などのイベントでは、運営の主体である文化祭実行委員会委員、市民体育祭実 行委員会委員に加え、参加団体の高齢化、固定化、イベントのマンネリ化、参加者や来場者の減少、スタッフ不足による職員 の重労働などの課題がある。 課 ◆上記の課題を解決するためイベントのリニューアルについては、新たな参加団体への発信等の周知や活動団体の把握が 題 必要となる。 ◆次世代を担う多くの人が、楽しさや面白さを感じながらイベントや企画に主体的に参画できる仕組みがなかったことに加 え、情報発信力が弱く、必要としている人に情報が届いていなかったため。 因 分

今後の施策の方向性(ACTION)

◆ブンカミーティングで出てきたアイデアを小さなことからでも具現化していくことで、市民の意識を醸成していく。小さな成功体験を繰り返していくことで楽しいと思える人の裾野を広げていき、新たな取り組みや世代を超えて文化芸術でにぎわうまちを目指していく。

今後の 施策の 方向性

◆動画や写真をうまく活用し、SNS等を使った情報発信を積極的に行っていき、参加したいと思う人を増やしていく。

◆今後の国等の文化・芸術・スポーツに対する施策の方向性を踏まえたうえで、スポーツにふれる機会の増加や持続可能な活動を展開していくために必要な制度を整えていく。

糸	総合計画の政策名	学びあうひとづくり 彩りあるまちづくり			
	基本施策名	2-4 文化・芸術・スポーツ			
<u> </u>	担当課	事業名	事業費総額 (千円)	市負担額 (千円)	事務事業評価結果
1	生涯学習課	学習館運営·維持管理事業	14,988	14,215	A 現行どおり
2	生涯学習課	史料調査保存事業	2,029	2,029	A 現行どおり
3	生涯学習課	織編館運営事業·維持管理事業	11,515	11,227	A 現行どおり
4	生涯学習課	文化財発掘調査事業	2,708	1,452	A 現行どおり
5	生涯学習課	文化財保存事業	6,174	6,174	A 現行どおり
6	生涯学習課	文化活動振興事業	8,922	8,922	A 現行どおり
7	スポーツ青少年課	スポーツ施設管理運営事業	50,585	50,585	A 現行どおり
8	スポーツ青少年課	スポーツ施設指定管理者支援事業	3,361	0	A 現行どおり
9	スポーツ青少年課	団体等育成支援事業(スポーツ課)	1,488	1,024	A 現行どおり
10	スポーツ青少年課	体育振興事業	10,486	3,503	A 現行どおり
11	スポーツ青少年課	地域運動部活動推進事業	1,135	1,135	A 現行どおり
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
		合計	113,391	100,266	
	 事務事業の方向性	A B B 悪改美	0 本 ,	C 統小 0	+ D 0